

令和元年度NGO連携無償資金協力
「ヨルダンの少年勾留施設における心理的ケアを主眼に置いた更生支援活動
の実践と支援体制モデル構築事業」（公益社団法人日本国際民間協力会）
贈与契約書署名式

2020年3月2日、在ヨルダン日本大使館において、日本政府のNGO連携無償資金協力の枠組みにより実施される「ヨルダンの少年勾留施設における心理的ケアを主眼に置いた更生支援活動の実践と支援体制モデル構築事業」のための448,231米ドルの贈与契約に、柳大使と井坂・公益社団法人日本国際民間協力会（NICCO）ヨルダン事務所代表が署名しました。

本事業は、ザルカ県ルサイファ市にある少年勾留施設において、更正支援体制の構築・普及を通じて、ヨルダンにおける非行少年が精神的に安定し、経済的に自立して社会復帰する環境を整備することによって、ヨルダン社会の安全と安定の強化に貢献することを目的に、ヨルダンでの活動経験の豊富な日本のNGOであるNICCOが実施します。

NICCOは、ヨルダンにおいて、1993年にカラク市でマイクロ・クレジット事業を立ち上げて以降、各所で幅広いプロジェクトを実施しています。特に、シリア危機以降は、シリア難民やヨルダンの脆弱な人々への支援を実施しており、2014年以降はザアタリ難民キャンプにも活動を広げています。

